

作成日 2002/01/01

改訂日 2021/10/01

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ソービス
製品コード	1220
整理番号	203-0-07
供給者の会社名称	エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル株式会社
住所	神奈川県川崎市幸区大宮町1310
担当部門	RC推進部
電話番号	044-540-0110
FAX番号	044-540-0109
緊急連絡電話番号	上記担当部門

### 2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 区分4 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 呼吸器感作性 区分1 皮膚感作性 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分3 水生環境有害性 長期(慢性) 区分3 ※上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

### GHSラベル要素

#### 絵表示



#### 注意喚起語 危険有害性情報

危険  
H302 飲み込むと有害  
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
H318 重篤な眼の損傷  
H334 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ  
H335 呼吸器への刺激のおそれ  
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

#### 注意書き 安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)  
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)  
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)  
環境への放出を避けること。(P273)  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)  
呼吸用保護具を着用すること。(P284)

#### 応急措置

飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312)  
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)  
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)  
直ちに医師に連絡すること。(P310)  
気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)  
特別な処置が必要である。(P321)  
口をすすぐこと。(P330)

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。(P333+P313)  
 呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。(P342+P311)  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)  
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)  
 施錠して保管すること。(P405)  
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)  
 情報なし  
 情報なし

他の危険有害性  
 重要な兆候及び想定される非常事態の概要

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物  
 化学名又は一般名 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
二亜硫酸ナトリウム	80~85%	Na2S2O5	(1)-502	既存	7681-57-4
非公開	20~15%	非公開	非公開	非公開	非公開

分類に寄与する不純物及び安定化添加剤 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合  
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。  
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合  
 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合  
 直ちに医師に連絡すること。  
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合  
 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。  
 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性の症状の最も重要な兆候症状  
 応急措置をする者の保護 情報なし  
 医師に対する特別注意事項 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。  
 情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤 この製品自体は、燃焼しない。  
 使ってはならない消火剤 情報なし  
 火災時の特有の危険有害性 燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法 消火作業は、風上から行う。  
 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。  
 関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 呼吸用保護具を着用すること。  
 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 呼吸用保護具を着用すること。  
 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。  
 必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。  
 封じ込め及び浄化の方法及び機材 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。  
 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。

二次災害の防止策

粉末の場合は、電気掃除機(真空クリーナー)、ほうきなどを使用して回収する。  
 粉塵が飛散しないようにして取り除く。  
 微粉末の場合は、機器類を防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。  
 少量の場合、吸着剤(土・砂など)で吸着させ取り除いた後、残りを大量の水で洗い流す。  
 必要があれば消石灰、ソーダ灰などで中和する。  
 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。  
 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。  
 漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意  
取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。  
 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。  
 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。  
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
 呼吸用保護具を着用すること。  
 保護眼鏡、保護面を着用すること。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

接触回避  
衛生対策

『10. 安定性及び反応性』を参照。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。  
 施錠して保管すること。  
 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。  
 酸化剤から離して保管する。  
 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

安全な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
二亜硫酸ナトリウム	未設定	未設定	TWA 5 mg/m <sup>3</sup> , STEL -

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。  
 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具  
 手の保護具  
 眼、顔面の保護具  
 皮膚及び身体の保護具

機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。  
 呼吸用保護具を着用すること。  
 保護手袋を着用すること。  
 保護眼鏡、保護面を着用すること。  
 必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

固体

形状

結晶状粉末

色

白色

臭い

亜硫酸臭

融点/凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性

不燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

下限

データなし

上限

データなし

引火点

引火せず

自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		5~6
動粘性率		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール/水分配係数		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び/又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
<b>10. 安定性及び反応性</b>		
反応性		空気中及び湿気に暴露すると徐々に硫酸塩へと酸化される。
化学的安定性		通常条件では安定。 加熱により分解し硫酸ナトリウムを形成する。
危険有害反応可能性		酸化剤や強酸との接触に注意する。
避けるべき条件		高温を避ける。
混触危険物質		酸化剤、強酸。
危険有害な分解生成物		燃焼の際は、一酸化炭素、二酸化炭素、硫黄酸化物、酸化ナトリウムなどが生成される。
その他		情報なし
<b>11. 有害性情報</b>		
急性毒性	経口 経皮	混合物の急性毒性推定値が1540mg/kgのため区分4とした。 急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。
	吸入	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/皮膚刺激性		データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		眼区分1の成分合計が85%のため、区分1とした。
呼吸器感受性		区分1の成分が85%のため、区分1とした。
皮膚感受性		区分1の成分が85%のため、区分1とした。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		データ不足のため分類できない。
生殖毒性		(生殖毒性) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分3(気道刺激性)の成分合計が85%のため、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データ不足のため分類できない。
誤えん有害性		動粘性率が不明のため、分類できないとした。
<b>12. 環境影響情報</b>		
水生環境有害性 短期(急性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が85%のため、区分3とした。
水生環境有害性 長期(慢性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が85%のため、区分3とした。
生態毒性		データなし
残留性・分解性		データなし
生体蓄積性		データなし
土壤中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
その他		データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

非該当

Marine Pollutant

Not applicable

Liquid Substance

Not applicable

Transported in Bulk

According to MARPOL

73/78, Annex II, the

IBC Code

国内規制

航空規制情報

非該当

陸上規制

非該当

海上規制情報

非該当

海洋汚染物質

非該当

MARPOL 73/78 附属書II

非該当

及びIBCコードによるば

ら積み輸送される液体物

質

航空規制情報

非該当

特別の安全対策

輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確認する。

転落、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に

に行う。

緊急時応急措置指針番号

なし

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

二亜硫酸ナトリウム(政令番号:412)(80%-85%)

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

非該当

海洋汚染防止法

有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)

外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の16の項

水道法

有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)

労働基準法

疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)

16. その他の情報

参考文献

ezSDS(JDCB)

モデルMSDS(安全衛生情報センター)

Webkis-Plus(国立研究開発法人国立環境研究所)

国際化学物質安全性カード(ICSC)

化学物質総合情報提供システム(NITE)

その他

記載内容の取扱い:

全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。